

## 嘔吐物処理演習を行いました

2016年11月22日、11月28日に嘔吐物処理演習を行いました。

10月頃から流行する感染性胃腸炎や食中毒は、嘔吐物や糞便によって感染が拡大するため、嘔吐時に適切な処理をすることがその後の感染拡大防止のために重要になります。



今回の演習では、はじめに品質保証室スタッフが必要道具や作業の注意点について解説し、青く色付けしたおかゆを嘔吐物に見立てて模擬嘔吐物処理を行いました。その後、参加者が指示を受けながら処理演習を行いました。

参加者からは、「実際にやってみると大変な作業である」「嘔吐時はむやみに移動してはいけない。そして、正確な報告をすること」「体調管理をすることが大切だが、体調が悪くても言い出せない方もいるかもしれないので、従業員同士のコミュニケーションを密にとるべき」等の声が出ました。

嘔吐物処理キットの設置場所、正しい処理方法の周知を徹底し万が一に備えること、そして従業員全員の健康管理を徹底し未然に防ぐ事が重要である事を参加者全員で確認致しました。